

「日野町くらし安心ひとづくり総合戦略」の取り組み評価を実施

日野町では、安心して暮らせる地域をつくり、その地域の魅力で交流人口および定住者人口を増やしていくことにより、持続発展可能な地域をつくるため、平成27年度に「日野町くらし安心ひとづくり総合戦略」を策定しました。総合戦略では、4つの基本目標と50の施策により取り組みを進めています。

毎年、50施策の取り組みの進捗を、住民・団体代表・有識

者の方々による総合計画懇話会で、担当課からのヒアリングも含め検証いただいています。今年度も10回にわたり評価に係る協議を重ねていただきました。
結果、平成29年度の取り組みとしては、50施策の内46施策は計画に基づき取り組みられているが、4施策については、工夫が必要との評価でした。

*S(目標達成している) A(優れている) B(実施できている) C(工夫が必要) D(改善が必要)

基本目標① まちのたからで雇用を創る

- A: 地域内経済循環の推進、魅力ある商店づくりの促進、農業経営体の育成、地元野菜生産者の担い手育成、獣肉の利活用を促進、高齢者の生きがい創出
- B: 創業・第2創業の促進、企業誘致と企業・異業種間の交流促進、日野菜のブランド化の促進
- C: 若者等の就職相談窓口の整備

基本目標② 出会いと発見で人の流れを作る

- A: 体験型観光の推進、観光受入体制の整備、日野の「たから」の伝承促進、伝統文化等後継者育成の促進、生涯学習の機会の充実、空き家を活用した定住促進、多文化共生の推進
- B: 日野の「たから」の情報発信の推進、定住支援相談窓口の整備、スポーツによる交流の促進
- C: 空き地等を活用した定住促進

基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる

- A: 出会いの場の創出、産み育てやすい環境の充実、保育所の整備、福祉医療制度の実施、子ども読書活動推進、働きやすい職場環境の推進
- B: 乳幼児健診における保健指導の充実、子育て期間中の保護者の交流促進、子育て支援員の確保、ファミリーサポートセンターの整備、学童保育所の整備、児童・生徒の自主的学習支援の推進、奨学金制度の充実
- C: 交流できる場の充実、障がい児の支援の充実

基本目標④ くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる

- A: 進取のまちの推進、地域福祉活動の推進、コミュニティビジネスの創出、学びの機会の充実、障がい者の就労促進、障がい福祉サービスの充実、犯罪・事故のないまちづくりの推進、消防団活動の充実、公共交通の利用促進
- B: ボランティア団体の組織化の促進、異文化・多世代交流の創出、農業を活かした中間就労の創出、介護予防の促進・高齢者の自主的な活動支援、自主防災組織の育成

*詳しくは、町のホームページにてご覧いただけます。

◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎0748-52-6552

11月下旬
実施予定

住民意識調査にご協力をお願いします

現在の第5次日野町総合計画は、平成23年に策定したもので計画期間が残すところあと二年となります。今後、めまぐるしく変化する人口減少社会の到来が予測されており、少子・高齢化をはじめ、さまざまな課題がでてきているところです。

そこで、町ではこれからの時代に即した次期総合計画を策定するため、町民の皆さまの意識や、地域づくりについてご意見をお伺いし、集約、解析する

ことで今後のまちづくりの基礎資料とするため、住民意識調査を実施します。

町在住の18歳以上の方から、2,500人の方を無作為に選び実施させていただく予定です。調査票が届きました方は、ご協力をお願いいたします。

◆問い合わせ先
企画振興課 企画人権担当 ☎0748-52-6552



祭りへの想いを クラフトビールに



▲田中さん(左)、ショーンさん(中央)、トムさん(右)

日野祭りをテーマにしたクラフトビールが今年の10月から販売開始されました。町内在住の祭り大好き3人組が「祭りに貢献したい」という思いで意気投合し、酒造会社「HONOBREWING」を設立。酒店「酢屋忠本店」を営む田中宏明さん、英会話教室を経営するポーランド出身のショーン・フミエンツキさん、自治体や企業のプロモーションなどを手がけるクリエイティブ・ディレクター、イギリス出身のトム・ヴィンセントさんの3人。

に。田中さんは「ビールを通して祭りが盛り上げられ」と話してくださいました。

現在販売されているのは「ヤレヤレビール」と「ドントヤレIPA」。名前の由来は「ヤレヤレ ドントヤレ」という祭りのかけ声をもじって命名されたそうです。全て330ml瓶。税込み600円。また、現在新しく「ワダリス タウト」と「バカラガー」を開発中とのこと。

「今後は、色々な地域の祭りのビールを作り、祭りや地域に貢献したい」と話してくださいました。

田中さんは以前から「日野祭りの時に飲んでもらえる地ビールがあれば」という思いを持たれていたそうです。昨年5月、ショーンさん、トムさんにビール造りや祭りへの想いを話すと「面白そうや」と意気投合。「地域が抱える問題を何とかしたい。町や祭りを盛り上げたい」という想いから会社を設立されました。

売上げを祭りに寄付

また、ビールの売上げの一部を寄付し、祭りの活動費



▲ブルーメの丘のビール工房でビールを醸造

ラベル裏のQRコードで祭りのトレーラームービーが!



「ピンシン」

ごみ減量を考える標語募集

ごみの減量、環境美化意識を高め、3R(注記参照)の推進を呼びかけるため、町では、平成31年度版の「資源・ごみ収集カレンダー」に掲載する標語を募集します。

◎応募期間 11月5日～11月30日

◎応募資格 町内に在住されている方、町内に通勤・通学されている方

◎標語の内容 ごみ減量、環境美化、3Rの推進を呼びかけるもの

◎選考等 標語の選考は、日野町エコライフ推進協議会で行い、優秀作品には記念品を贈ります

◎応募方法 標語は、おおよね20字以内として、住所、氏名、電話番号を記入の上、FAX、メール、はがき、または封書で住民課生活環境交通担当まで応募してください。応募は一人2作品まで

◆応募・問い合わせ先

〒529-1698 日野町河原二丁目1番地

住民課 生活環境交通担当

(日野町エコライフ推進協議会事務局)

☎0748-52-6578 FAX 0748-52-2003

Mail jumrin@townshiga-hino.lg.jp

※注 3Rとは、

Reduce(リデュース)↓物を大切に使う。ごみを減らす。

Reuse(リユース)↓繰り返し使う。

Recycle(リサイクル)↓再び資源として利用しよう。

県下「斉清掃運動を実施します」

【とき】12月1日 午前9時から

【ところ】国道307号周辺を清掃

(南比都佐小学校正面玄関前集合)

皆さんぜひご参加ください！

